

令和6年度第2回環境活動講座「気候変動を伝えよう」実施結果

地域で気候変動問題について普及啓発する人材を育成することを目的として開催した。併せて、受講者に環境学習指導者（気候変動）への登録を呼びかけ、今後の活動の機会を広げることを目的とした。

1 開催日時

令和7年2月17日（月曜日） 9時30分～15時30分

2 場所

環境科学センター 環境学習室

3 講座内容

時間	内容	講師等
9:30～9:40	講座について（主旨説明・注意事項）	事務局
9:40～10:50	脱炭素に係る県の取組	脱炭素戦略本部室 企画グループ 中嶋主査
10:55～12:00	気候変動適応センターの取組 気候変動適応センターの普及啓発事例紹介	気候変動適応センター 新井主査
13:00～14:55	グループワーク体験・意見交換	気候変動適応センター 新井主査、米山主任技師
15:05～15:30	人材情報調査の説明 受講証交付	事務局 加藤所長

4 受講者数

受講者 20名

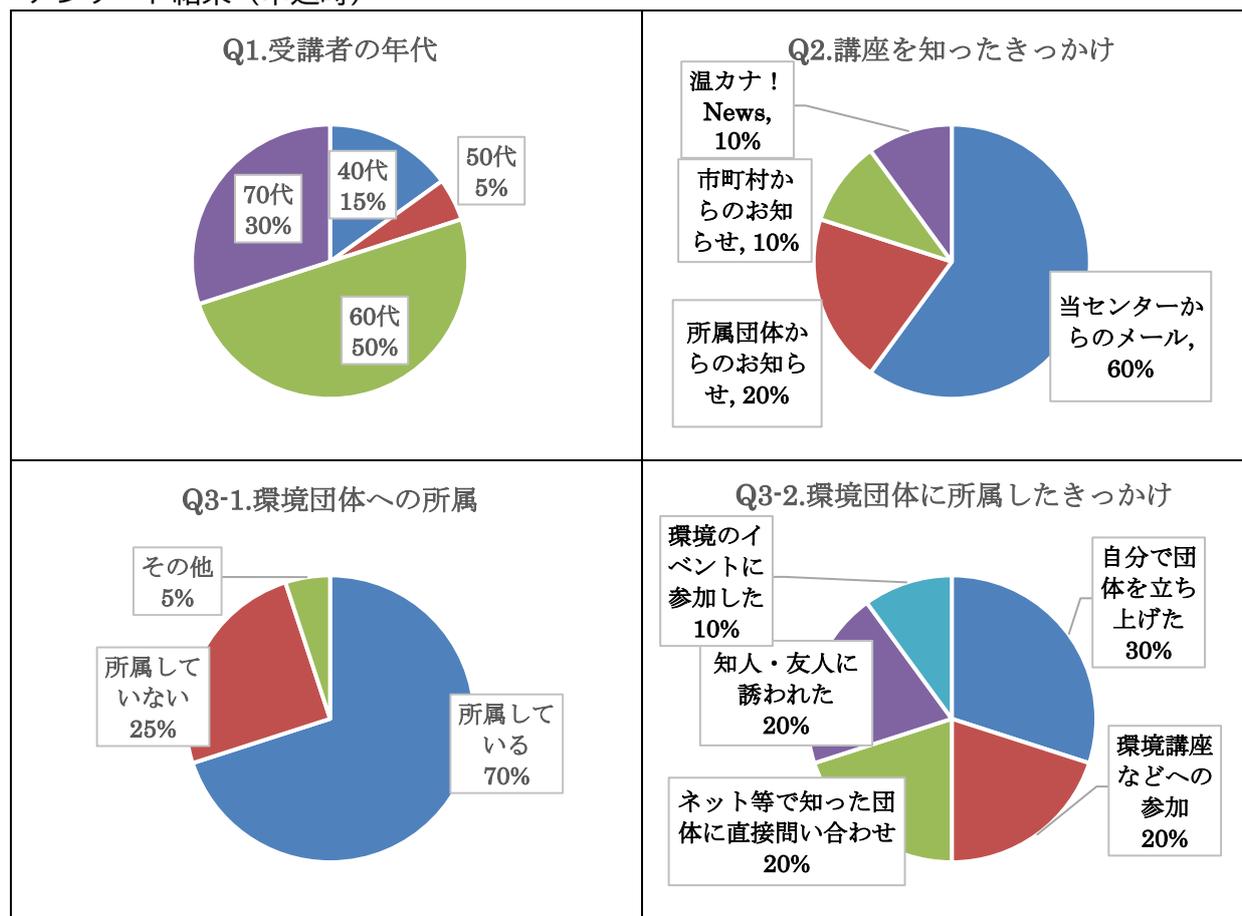
5 人材情報調査結果

調査用紙提出数 20名、うち登録者数 14名

6 アンケート結果

受講申込時と受講終了時のアンケートから抜粋

アンケート結果（申込時）



Q4. これから環境活動を行うにあたって必要な支援について

- | | |
|---------------------------|----|
| ①メンバーを増やすため活動紹介を行う場 | 5件 |
| ②不足する資金を補うための補助や寄附の情報 | 5件 |
| ③活動に必要な専門知識を持った講師の情報や紹介 | 9件 |
| ④活動をする場を増やすため学校など公的機関との連携 | 7件 |
| ⑤その他 | 4件 |

各項目の意見等

①メンバーを増やすため活動紹介を行う場

- ・ 会員、ボランティアさんなどを募る掲示板のような仕組みがあるとありがたいです
- ・ 実践の場への見学等も大切
- ・ メンバーの新陳代謝が常に必要だと思います。
- ・ インターネット、各種講座等を利用する。
- ・ 地域住民向けのイベント開催

②不足する資金を補うための補助や寄附の情報

- ・ ボランティアさんへの支援が欲しいです。交通費だけでも補助いただけるなど
- ・ 民間企業からの有料講座などの情報
- ・ 活動の運営に対して補助をするものを希望
- ・ 募集要領や金額、条件等が合わない場合が多いともおもいますので、より多くの情報が必要だと思います。
- ・ 脱炭素行動変容はまず教育から。ゲームを含めた探究学習と教員以外の専門家の参加支援資金

③活動に必要な専門知識を持った講師の情報や紹介

- ・ モニタリングデータ等の相談ができる場所
- ・ 今後、気候市民会議の活動等でWSや講演会を開催したいため
- ・ 樹林地の整備（主に遷移を進行させない維持管理）にあたって、専門知識を学びたい
- ・ 活動に必要な専門知識を持った講師の情報や紹介
- ・ 地球温暖化に関する情報を常にバージョンアップできる人材
- ・ コロナ期間の変化について、一般の人に伝わる情報が少なくなったと感じている
- ・ ニーズがあるのに、マッチングできていないので、実現力が担保された積極的な情宣が不可欠。
- ・ 賛否両面から語れる方の情報が必要です。
- ・ 分かっている事象と分からないことを明確にして、分からないことの必要性、アプローチ、今後の見通し等を専門家に聞きたいと思います。

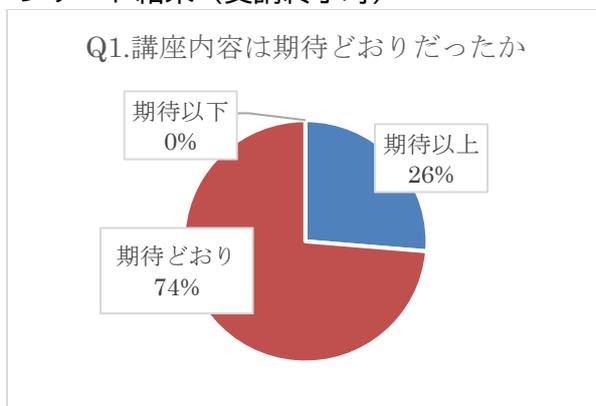
④活動をする場を増やすため学校など公的機関との連携

- ・ 今後、地域内の学校教育や自治体との連携で気候市民会議として対話やミステリーの手法を使ったWSを企画したいため
- ・ 先生方との交流も大切
- ・ 特に、学校の授業に環境や、自然エネルギーの時間を取ってほしい。
- ・ 県や市の行政における講演会活動の積極的展開！！
- ・ 教育や社会福祉機関側も環境教育コンテンツのニーズをお持ちだと思います。
- ・ 小、中、高等学校に加え、大学の教職課程の学生との交流が望ましい。
- ・ 脱炭素行動変容はまず教育から。ゲームを含めた探究学習。

⑤その他

- ・ モニタリング調査も実施しておりますが、異変があった際などの相談できる専門家の方や調査へのアドバイス、サポート(予算的にも)などご相談できる場があると心強いです
- ・ 県立都市公園で実施する維持管理についての市民のご理解（例：木の伐採は単純な自然破壊ではない、等）
- ・ 人が集まることに対しての社会の評価の変化があったように思うのだが、いかがでしょうか？あればそれに対応できる取り組みを知りたい。
- ・ 神奈川県内で霧ヶ峰パークボランティアのような環境保全活動の紹介

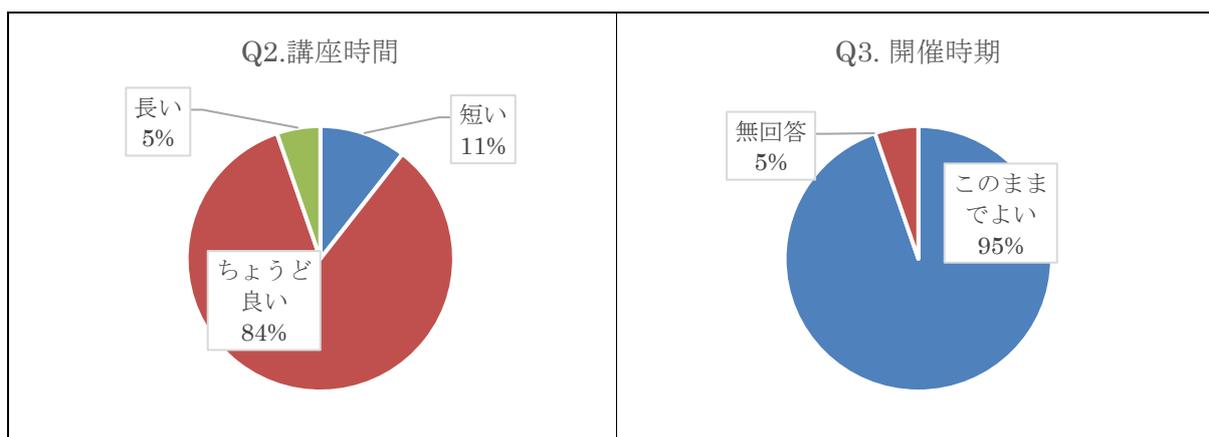
アンケート結果（受講終了時）



Q1 の意見欄

- ・ WSで対話型、考えるためのクラスの手法を知れたことは大変有意義でした。
- ・ 参考になりましたありがとうございます。来る温暖化加速にさらに至急具体的な環境教育が必要と思いました。
- ・ 多くの方々とお話ができました。

- これらをどのように実践するかは、こちらの能力、努力が問われると思います。
- グループワーク内容が充実していた。
- グループワークが低年齢でもできる工夫があった。
- 新井さんの講義、グループワークの進行がとてもよく勉強になりました。
- 詳しい内容を事例として分かりやすかった。参照 URL も活用したい。
- グループワーク、参考になりました。教材も使わせていただいて、活用したいと思います。
- 神奈川県環境学習リーダー向けの講座で取り組んでいる。小学生向けの環境学習（地球温暖化）についての紹介があっても良いと思います。



Q2, Q3 の意見欄

- 週末などに開催していただけるとありがたいです。
- 3カ月に1回、年4回もやれば、それぞれの最適な事例ができるように思う。
- 私にはちょうど良かったです。午前中だけであればお子さんが小さい方も参加しやすいなと思いました。
- ひとつひとつ、とても興味深い内容でしたが、講義の時間が短いのか、全体的にかけ足な説明だったのが少し残念でした。もっとじっくり聞きたかったです。
- 月曜日以外の平日を希望します。
- ゲームと進め方もやってみたかった。

Q4 講座全体の意見・感想

- 国立環境研究所教材は初めて知りました。活用させていただきたいと思います。
- 良い講座でした。
- 勉強になりました。
- 色々考えるきっかけとなり、ありがとうございました。
- 適応策を中心にした小学校の出前講座ができないか考えていたので大変参考になりました。
- 初めての受講のため全てが新鮮でした。自分の知識を深められた。
- 講座のアジェンダと時間割のシートを1枚用意していただき良かったです。
- 適応策として意識していなくて当たり前になっている生活形式のハンディファン、ファンチョッキ、日傘を切り口にして、緩和策に結びつけて、導入できる知恵はないのか？
- 最新情報も知りたかった